

根名草山～手白沢温泉

[山行日] 2015年7月21日～22日

「参加者」 6名

百両が万両に化した山旅

No.

H27 7/21～22

— 根名草山と満天の星手白沢 —

谷田部 福井 私を乗せ、寺島さんの車は、アッという間に百穴へ。
増田さんのパジェロに乗り換え、それアッという間に東武日光駅に上
立つかたちを見え、三菱タクシーのオモイ乗車さんに導かれ、アッ
アッという間に金精神に登山口へ。

すぐに左側の登山道に取り付き、いきなりカレバ、金バシゴ、右の崩落箇所
はなるべく見ないようにして(私)左、グリーン色の山側に目をやれば、やがてナ
ラリと赤い物が、金精神社の屋根でした。湯の湖、男体、戦場ヶ原、一望の広い
この山で、息、やがて道はシャクナゲ色の登りです。花季は終わったとはいえ、
高みへ上がるにつれ、一輪、二輪、最後は紫の花が盛り上り、我等を迎えて
くれました。

笹藪の中、温泉岳標識を見直進、広大な大森林の中の二つの相違は七カ
メ込三月でした。整地された旧避難小屋を径、モダンな新小屋へ。ここで驚
べきサポライズが…。小屋に入った増田さんが、沢山の毛布を干し始めたので
一同黙ってません。みんな協力して干したのです。白沢は、私、頂上に着かない
のにマイツツと大変なでかくて休んでました。昼食は1丁前に食べました。
景色よりもすばらしいものを見たのです。

立ち枯れの白い木が目立つ念仏平、ここまで来ると白根が眼前、頂上の
岩山まで見えるのにビックリ。岩ゴツゴツを這り上がれば、根
名草山(2,330m)の頂上。いや、もう、火道からキヌ沼湿原全
部見え、書き切れないから書かない。

あとは手白沢まで下り、オリー。日光沢への分岐を空見て、誰一人
通らないような不思議な山中から、広い道路に飛び出したら、そこ
はもう手白沢。いや、ここがスバラシイ、スバラシイ。食料、物
などない。すべて木造で、それが風呂の廊下までセロリカセロカ、犬の
名前だって岳(ガク)だよ。うちのムスコも岳夫(タケ)だけどね。

完璧フルコース、晩餐会ですよ。しかも浴衣姿でね。
アベリタイフ、林檎の香りのワインにうっとり。前菜はマスのマリネ、ヤマメの天麩、ち
きり菜のおふたし、メインは普通の肉の魚がですが両方ですよ、黒毛和牛ステーキ
イワナ塩焼、主食も糠、ごはんとはばがき、デザートはスモ、洋梨
のソルベ…もう堪えない。

満天の星の露天風呂、困いなんがありよせん、いやあった、算えた、4年々に
用まれて…。シャワー代りにお湯が24時間流れ落ちるので。

翌日、全員、清々しい顔で、ろんろん下り、加仁湯、日光沢とろんろん登り、日な夕
大ッロシの境は緑の森の中、白絹のように光ってありました。あらゆることが、満
たの、おぼろしい山旅でした。皆様、本当に有難うございました。
小川さん、ほぼ計画通りに歩きました。心のこもった計画書にも感心したは、
金精神社にお金100円あげたけど、100万両の旅となって返ってきた
根名草山でした。